

平成30年度 行政評価の取組結果（危機管理室）

【Plan】 計画 / 【Do】 実施															【Check】 評価 / 【Action】 改善						
施策番号・施策名	No.	基本計画の施策を構成する主な事業・取組	主要事業所管課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）				H30年度		H29年度	人件費（目安）		H30年度				R2年度予算要求に向けた施策の方向性			
					指標名等	現状値（基準値）	H29年度	H30年度	中期目標	予算額（千円）	決算額（千円）	決算額（千円）	金額（千円）	職位	人数	事業評価	評価の理由		局施策評価	局施策評価の理由及び課題	
II-1-(4)-① 危機管理対応能力の向上	1	防災訓練の実施	危機管理課	風水害、地震等の大規模災害時における防災体制について万全を期すため、災害に対する各種訓練を実施する。	防災訓練参加人数	2,738人 (H26年度)	目標	3,000人	3,000人	3,000人 (毎年度)	11,074	10,733	9,103	11,050	課長	0.20人	大変順調	各区の災害特性に応じた訓練を実施したほか、市総合防災訓練では、20機関731人が参加し、雨の降り方が局地化・集中化・激甚化している近年の状況や紫川、東谷川に対する想定最大規模降雨による洪水浸水想定区域図の公表を踏まえ、平成21年、22年に浸水被害が発生した紫川流域の校区で風水害を想定した住民避難訓練等を実施し、地域の防災力の向上及び防災関係機関等の体制強化を図った。当初の目的は達成できているため、「大変順調」と判断。	大変順調	【評価理由】 近年の災害において自助・共助の重要性が求められる中で、地域住民が主体となり、防災意識の高揚を図ることを目的とした訓練が実施できていることから「大変順調」と判断。 【課題】 引き続き防災訓練等により危機管理対応能力を向上させることが必要。	危機管理対応能力を向上させるため、多様な防災訓練を継続して実施する。
							実績	4,529人	4,225人						係長	0.50人					
							達成率	151.0%	140.8%						職員	0.50人					
II-1-(4)-② 災害に関する情報提供と自助、共助の意識づくり	2	防災行政無線	危機管理課	災害時における避難勧告などの防災情報は、テレビやラジオ、ホームページ、登録制防災メール・緊急速報メール、Twitter、市民防災会の連絡網などにより市民の皆さんへ伝達している。津波情報等を効果的に伝達するために、地域住民に一齐に通報が可能で、災害に強い情報伝達手段である同報系防災行政無線（住民に災害情報などの放送を行う防災スピーカー）を運用する。	住民に津波情報や避難勧告等の防災情報を迅速かつ的確に伝達できる状態	—	目標	防災情報を迅速かつ的確に伝達できる状態	防災情報を迅速かつ的確に伝達できる状態	防災情報を迅速かつ的確に伝達できる状態	21,793	20,821	23,293	5,400	課長	0.10人	順調	平成26年9月1日の運用開始以降、システムトラブルは発生していない。また、自治会等での防災訓練においても活用しており、当初の目的は概ね達成できているため「順調」と判断。	順調	【評価理由】 防災行政無線については適切に運用されている。また、「みんなde Bousaiまちづくり推進事業」については、地区防災会議の実施校区数、地域防災を担う人材の育成共に概ね目標を達成していることから「順調」と判断。 【課題】 防災スピーカーの確実な運用のため、適切な維持管理（消耗品の交換など）を行う。	防災スピーカーの確実な運用のため、適切な維持管理（消耗品の交換など）を行う。
							実績	防災情報を迅速かつ的確に伝達できる状態	防災情報を迅速かつ的確に伝達できる状態						係長	0.20人					
							達成率	—	—						職員	0.30人					
II-1-(4)-② 災害に関する情報提供と自助、共助の意識づくり	3	みんな de Bousai まちづくり推進事業	危機管理課	過去の大規模災害では、自助・共助の力を向上させることが「減災」対策を推進する上でも必要不可欠であることが証明された。また、「北九州市地域防災計画見直し検討会」の中でも、地域コミュニティが持つ防災力＝「地域防災力」の重要性が指摘された。これらのことから、市民が自ら「命を守りぬく」ことができる自助・共助の力を向上させるとともに、地域防災力の育成及び活性化を推進する。	地域ぐるみの防災ネットワークを構築した校区数	4校区 (H26年度)	目標	13校区	10校区	10校区 (H30年度から毎年度)	16,811	13,407	10,929	8,050	課長	0.20人	大変順調	「地域ぐるみの防災ネットワークを構築した校区数」は、地域の自主性を重視し、地域からの手上げ方式で募集しているが、目標の10校区に対して9校区での実施となった。また、「地域防災の新たな担い手を育成した人数」についても、目標数を大幅に上回る結果となっていることから、事業全体の評価として、「大変順調」と判断。	順調	【課題】 平成28年2月に福岡県から津波浸水想定が公表されたことにより、既存の防災スピーカーでは包含できない箇所が発生した。「地域ぐるみの防災ネットワークを構築した校区数」の増加に向けて、より多くの地域が主体性をもって取り組めるよう、積極的な事業PRを継続していく必要がある。	また、みんなde Bousaiまちづくり推進事業の取り組みを継続して実施する。
							実績	7校区	9校区						係長	0.20人					
							達成率	53.8%	90.0%						職員	0.50人					
II-1-(4)-② 災害に関する情報提供と自助、共助の意識づくり	3	みんな de Bousai まちづくり推進事業	危機管理課	過去の大規模災害では、自助・共助の力を向上させることが「減災」対策を推進する上でも必要不可欠であることが証明された。また、「北九州市地域防災計画見直し検討会」の中でも、地域コミュニティが持つ防災力＝「地域防災力」の重要性が指摘された。これらのことから、市民が自ら「命を守りぬく」ことができる自助・共助の力を向上させるとともに、地域防災力の育成及び活性化を推進する。	地域防災の新たな担い手を育成した人数	67人 (H26年度)	目標	60人	60人	60人 (毎年度)	16,811	13,407	10,929	8,050	課長	0.20人	大変順調	「地域ぐるみの防災ネットワークを構築した校区数」は、地域の自主性を重視し、地域からの手上げ方式で募集しているが、目標の10校区に対して9校区での実施となった。また、「地域防災の新たな担い手を育成した人数」についても、目標数を大幅に上回る結果となっていることから、事業全体の評価として、「大変順調」と判断。	順調	【課題】 平成28年2月に福岡県から津波浸水想定が公表されたことにより、既存の防災スピーカーでは包含できない箇所が発生した。「地域ぐるみの防災ネットワークを構築した校区数」の増加に向けて、より多くの地域が主体性をもって取り組めるよう、積極的な事業PRを継続していく必要がある。	また、みんなde Bousaiまちづくり推進事業の取り組みを継続して実施する。
							実績	77人	119人						係長	0.20人					
							達成率	128.3%	198.3%						職員	0.50人					